

出土した頭蓋骨を基に製作された弥生時代の女性の復顔像  
=20日、鳥取市青谷町吉川の青谷かみじち史跡公園のY A  
YOINE



# 弥生人女性復顔像お披露目

鳥取県は20日、青谷上寺地遺跡で出土した弥生時代の壮年女性の頭蓋骨を基にした復顔像を、青谷かみじち史跡公園のガイダンス施設「YAYOINE(やよいね)」(鳥取市青谷町吉川)でお披露目した。成人男性の「青谷上寺朗」、少年の「青谷来渡」に続く3体目で、女性は初めて。復顔像の除幕式には平井伸治知事や関係者が出席。「よみがえれ、弥生人」のかけ声に合わせ、展示ケースを覆っていた白い布を引いた。平井知事は「あまりにリアルでびっくりした。現代の日本人とつながるように弥生時代があるということを実感できる」とあいさつ。復元作業に携わった同公園の浜田竜彦課長補佐が経過を説明した。復顔像は、2000年度の発掘調査で出土した紀後半の頭蓋骨を基に立科学博物館の協力を製作した。核DNAの色は明るく二重まみられる。濃い眉毛などの特徴。母方は渡来人の系統とみられる。

青谷上寺朗と青谷来渡渡来人の系統だった。浜田課長補佐は「一時的に多様性のある集団

# ペットとの暮らし充実

イヌやネコなどペットを家族の一員と捉える「ペットの家族化」が進んでいる。少子高齢化も手伝って、ペットは今や癒やしを求めるだけでなく、生活に欠かせない存在になろうとしている。こうした中、鳥取県内でも「ペットと一緒に長く快適に暮らす」に目的を置いたビジネスが登場している。(川口耕)

## 関連ビジネス、県内でも

不動産業のウチタレック(米子市)は2月、自社管理の賃貸物件の一部をペット入居可にするサービスを始め、「ペット共生住宅管理士」の指導を受けながら、物件をリフォームする際に適用する一定の仕様やルールを設けた。

入居希望者とは事前に話し合い、一定のルールを設ける。家賃は通常よりも1割ほど割り増しし、自社所有物件のほか、オーナーのいる管理物件にも対象を広げていく考えだ。

●物件リフォーム  
引っかけ傷対策として床材や壁材に特別な素材を用い、壁には下半分の壁紙だけを容易に取り換えられるよう仕切りを設けた。天井には防音材を貼り、出入りをコントロー

ペット対応型の新築物件は増えているが、既存の賃貸物件は珍しく、同社の神谷昌建設・メンテナンス部長は「今後の人口減少を考えれば、入居率を上げていく方が必要になってくる。一定のニーズはあり、新たな客層の広が

## 住宅整備や見守りサービス

りに期待している」と話す。

### ●市場さらに拡大

相続などの契約に携わる同市の行政書士法人「ORCA(オルカ)」は2023年から、個人の財産を預かり生前の意思に沿って運用する信託会社と連携し、ペット関連の見守りサービスを始めた。飼い主の意向を契約書にまとめ、仮にペットだけが残された場合も行政書士が指図人となって、世話をする預け先や葬儀について信託会社に伝え、運用を管理する。

医療の発達などにより、ペットの寿命は伸びているとい、倉敷昭久代表は「ペットに対する思い入れは確実に強まっている。高齢者だけではなく、若い夫婦でもパートナーに負担をかけたくないと検討する人が多い」とその反応を語る。

市場調査会社の矢野経済研究所によると、国内のペット関連市場は年々拡大し、23年度には1兆8629億円と見込まれ、26年度には1兆9888億円まで拡大すると予想する。

人口減もあり、今後はペット数も減少が予想されるが、倉敷代表は「かけるお金以上の価値をペットに見いだす人は今後も増えていくはず。きめ細かいサービス内容がさらに求められていくのでは」と予想する。



ウチタレックが始めたペット共生型賃貸住宅。ペットと暮らすニーズが高まる中、新たな需要の掘り起しを狙う。米子市内

## リハーサル入念に

「小鳥の学校」あす、あさって公演



22、23日に鳥取市鹿の「鳥の劇場」で開か小中学生の演劇ワークショップ「小鳥の学校」の者による発表公演の準備を進んでいる。20日には

## 岸壁から車転

米

20日午前2時ごろ、市旗ヶ崎の米子港で、岸壁から海に転落し沈むと110番通報が来ると、運転していた同市の無職、矢倉誠人さんが約2時間半後に車内、消防に救助されたが、場で死亡が確認された。因は溺水による窒息死。米子署が事故の原因を調べている。

## 島根原発2号機

中電男性社員け

緊急搬送、意識

中国電力は20日、島